

# 会報

No.172

令和8年1月30日

一般社団法人 岡山県手をつなぐ育成会

## 新春を迎えて ~これから県大会について~

岡山県手をつなぐ育成会副会長 岡野茂一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
会員の皆様には県育成会の活動につ  
きまして、ご支援・ご協力をいただき  
まして厚くお礼申し上げます。

昨年十一月に総社と早島が中心に  
なって運営した県大会(総社・早島大会)  
には、約380名の参加がありました。

多くの方に参加いただき、また、育成  
会の会員や本人の会、地元のボランティ  
アの方に協力をいただきました。スマート  
な大会運営ができましたことに感謝  
申し上げます。

昨年の県大会は、一般大会と本人大  
会を合同で開催したため、内容、スケ  
ジュールとも窮屈になつた面もありま  
したが、初めて「保護者や行政の職員  
の方」と共に、「本人」がシンポジスト  
として同じステージで提言者になつた  
新しい取り組みを試みた大会でした。

「地域生活」をテーマにしたシンポジ  
ウムでしたが、三人の本人のシンポジ  
ストも堂々と自分の思うところを発表  
でき、参加者からはその頑張りに多く  
の称賛の声をいただきました。最近は  
「本人の意思尊重」や「意思決定支援」  
が課題になっていることからも、これ  
からの育成会活動を考える上でも意義  
のある大会になつたのではないかと思  
います。

育成会の一一番大きな事業である県大  
会は、四五回の開催を重ねており、長  
い間県下各地を巡回しながら開催して  
います。

きました。開催地の会員の方には大変  
なエネルギーが必要だったと思われます  
が、会員同士、地域の育成会(親の会)  
と教育・福祉などの関係機関との繋が  
りを深めることができたように思  
います。また、県下各地の会員が集まり、  
お互いの仲間意識を育む時間にもなつ  
たのではないかと思います。

県大会の開催は育成会活動の推進に  
大きな力になってきましたが、最近は  
参加者が減り、また、市単独での開催  
が難しく、複数の市町村での合同の開  
催を考えざるを得ない状況になつてき  
ました。このため、理事会・総会で協  
議を行い、今後の開催は、次のように  
決まりました。

○県下各地を巡回しながら開催する。  
○隔年の開催とする。  
・令和八年度には県大会は開催し  
ません。

- ・令和九年度に東備地区で開催し  
ます。

□県大会を開催しない年は、「本人の  
集い(仮称)」を行う予定です。内

- 容は「学習会」と「レクリエーション」  
の組み合わせで考えています。

今年は「午年」です。「午」は「飛躍」、  
「前進」の象徴とされています。これか  
らも共生社会の実現や障害福祉の充実  
に向けて、会員の皆様と共に、一步で  
も前進をするための活動を進めていき  
たいと思います。

## 目次

○新春を迎えて	1
○育成会県大会報告	2
○要望事項	6
○研修会等の取り組み	7
○受賞者の紹介・広告	9
・スペシャルオリンピックス	
・両備タクシーセンター 岡山交通	
○生活サポート総合補償制度	10



## 本人の会紹介

「地域とともに ~いばらっ子隊の一年~」



ホームページ <https://oka-iku2.sakura.ne.jp>  
e-mail oka-iku@kirameki-plz.com

## 手をつなぐ育成会岡山県大会 (総社・早島大会)

今年度の県大会は、総社と早島が中心となり、コンベックス岡山国際会議場を会場に開催しました。また、別開催だった一般大会と本人大会を合同で開催し、役員の仕事等では本人と一般の方が協力しながら大会を盛り上げました。

本人と一般をあわせて約380名の参加をいたしました。シンポジウムでは、シンポジストとして本人、保護者、行政の方がそれぞれの立場から「これから地域生活に必要なこと」について意見を発表しました。開催に際しまして多くの関係団体やボランティアの方にご協力をいただきました。開催地から経過報告とお礼を掲載します。

### 総社・早島大会をふりかえって

総社市手をつなぐ育成会

会長 山本 隆政

第四十五回手をつなぐ育成会岡山県大会(総社・早島大会)が、令和七年十一月十六日、コンベックス岡山を会場に行われました。

今回は、本人大会と一般大会をあわせて行つた県大会でした。

事前の実行委員会においては、本人の会役員会

と合同で行う機会を持ち、本人の会の考え方や思いを企画や運営に活かすようにしました。県育成会事務局の配慮のある進行や助言を得て、みんなで前向きに考えて準備を進めることができました。

大会当日の係分担や運営も、共に協力して行い、打ち合わせをよくすることで円滑にできました。

今大会のシンポジウムは、「豊かな地域生活に必要なこと」をテーマに、本人、保護者、行政の立場からのシンポジストが発表や提言を行いました。

本人が今大会のような大勢の前で発表するのは初めてですが、どの人も落ち着いて話せていて、立派でした。

本人からは、「仕事をすることでやりがいや誇りが持てたり、地域の人とつながりができたりする」と、仲間と相談して日常のルールや活動することを決めていることなどの発表がありました。

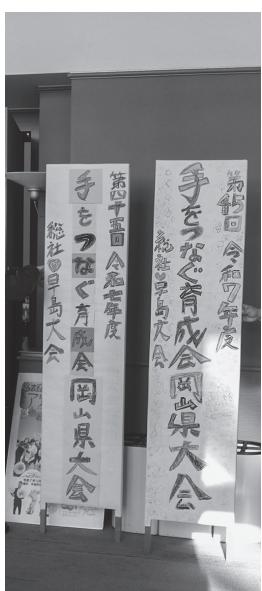
また、「困りごとがあるとき、周りの人伝えることは苦手だけど、それでも、教えてもらってできるようになつたり、相談できて助言をもらつたりすることで、助かつたり乗り越えられたりした」経験があることも話されました。

保護者の立場から、「親亡き後」に関して「困ったときに他人に助けを求めることができるようになつてほしい。そのため、先回りの支援でなく、福祉サービスを使った暮らいや交流事業、地域イベントなどに積極的に参加し、家族以外の人とかわりあう体験をさせるようにしている。」といった提言がありました。

行政の立場から、千五百人雇用で分かったこととして、「地域の働き手であり、地域を支える大企業などに積極的に参加し、家族以外の人とかわりあう体験をさせるようにしている。」といった提言がありました。

行政の立場から、千五百人雇用で分かったこととして、「地域の働き手であり、地域を支える大企業などに積極的に参加し、家族以外の人とかわりあう体験をさせるようにしている。」といった提言がありました。

行政の立場から、千五百人雇用で分かったこととして、「地域の働き手であり、地域を支える大企業などに積極的に参加し、家族以外の人とかわりあう体験をさせるようにしている。」といった提言がありました。



## 県大会をふりかえつて

早島町地域活動支援センター「梅檀の家」

管理者 磯 山 恵 子

第四十五回手をつなぐ育成会岡山県大会（総社・早島大会）に向け実行委員会が令和七年四月から開催され私は、早島地区から実行委員として初めて参加しました。長い歴史の中で、一般大会と本大会を合同で行うにあたりシンポジウムのテーマやレクリエーションについてどのように進めていくかを慎重に話し合いました。

実際にやってみないとわからないことばかりで手探り状態でしたが、いざ、当日の受付では長い列ができ会場は、400名近くの参加者で埋め尽くされました。大会のテーマに沿ったシンポジウムでは、「地域生活を考える」を本人代表と、保護者代表が発表し、本人は①困っていることをそのままにせず、まずは相談する②夢を持つことがやる気につながり、豊かな暮らしにつながる。この二つの言葉が印象に残りました。又、保護者からは、社会の一員として地域で暮らしていくはたくさんの人と繋がっていることが大事とのお話の中で、息子さんに「G.Hで一人暮らしあいつからする？」と訊ねると「お父さんが死んだら」との答えだったと言われ会場からは大きな笑いが起きました。



さて、楽しみにしていたレクリエーションは、

早島ゆめ太鼓・エイサーチームがオープニングを務めマジックショー、ギター演奏と続き一時間があつという間に過ぎました。早島ゆめ太鼓が準備した布は、「南中ソーラン」の曲に合わせ「どっこいしょ、どっこいしょ、ソーラン、ソーラン」

の掛け声とともに会場の皆さんに振ってもらい波のうねりを表現し、舞台と会場が一体となり大いに盛り上りました。マジックショーでは、指名された方が舞台に登場し「あら！不思議～頭の上のコップの水が無くなりましたよ～」とコップの中の水がどこに行つたか？今、起きたことがハテナ？の連続でした。トリを務めたほっこり優しい

歌声のギター演奏のフィナーレは、席を立つてステージ前に集まつた方々と歌つて踊つて締めくくりました。会場いっぱいの手拍子で心が一つになり「つないだ手を離さない」そんな想いが形になるつてこういうことなんだと思えた瞬間でした。

一般大会と本人大会が合同で行われた岡山県大会を支えてくださったボランティアや関係者、実行委員会の皆様が笑顔で前向きになれた大会でした。



早島ゆめ太鼓・エイサーチーム



事業所生産品の販売

# シンポジウム

吉備路ともだちの会

西 岡 健 二

今年の手をつなぐ育成会は、「シンポジスト」として参加できて良かったと思います。

音楽の素敵なステージでとても感動しました。今年の育成会大会は、僕も大満足のイベントで良かったと思います。また、この機会があれば是非、参加してみたいと思います。

美咲町 レインボータートル

県大会を終えて  
岡山ももの会

那須 敏夫

今回の発表では、最初は緊張しましたが少しずつ落ち着いて話ができたと思います。会場の皆様もしっかりと私の話を聞いてくれて、嬉しかったです。

発表までには、全体での打ち合わせを二回、岡山ももの会の支援者の方とは三～四回グループホームで打ち合わせを重ね、本番に臨みました。入念に準備をして当日を迎えたので安心して発表することができました。

今回このような機会を頂き、改めて豊かな地域生活や自分の仕事、健康について考えることができました。また、他の本人の会の方の発表や保護者代表の方、行政の方など多くの方の思いも聞くことができました。コーディネーターの方と質問形式でやりとりをし、自分の思いをその場で言葉にすることはとても難しいと感じましたが、良い経験になりました。今回考えたり聞いたりした内容はこれから的生活や岡山ももの会の活動に生かしていくたいと思います。



シンポジウム

発表することができました。今年の大会では初めて「コンベックス岡山」に来てすごくわくわくしました。今まで来たことないこの会場で自分のシンポジウムのテーマを発表する事は、実に自分の生き方を語り合う甲斐があつた気がしてこれまでの社会生活に自信を持つていく事が出来そうな予感がします。

午後のレクレーションでは、太鼓の迫力と手品入念に準備をして当日を迎えたので安心して発表することができました。

岡山県手をつなぐ育成会（総社・早島大会）のシンポジストとして、発表の準備をしていく中で自分の想いをどのように話したらみんなに伝わるか社会福祉協議会の方と相談しながら考えました。ぼくがもっと伝えたいことは、黄福（こうふく）タクシーについてです。参加者の中には岡山県議員の方もおられたので黄福タクシーが他の地域に広まってほしいし、福祉サービス充実にながつてほしいです。また山陽新聞の取材でも自分の想いを伝える事が出来たので多くの人に想いを届ける事が出来て良かつたです。他の方の発表を聞いて同じような事を考えていることを知つてうれしく思いました。

保護者の方の発表では、親亡き後についても不安を抱いている事を知ることが出来ました。ぼくも親亡き後を考えるきっかけになりました。

最後に、レクリエーションのギターと太鼓の演奏は、息がピッタリあつていてとても練習しているんだなあと思い、感動しました。

宮地 秀明

## コーディネーター

て痛感しました。

ご家族の発表からは、親亡き後を見据えて、地域

社会福祉法人 ももぞの学園  
吉備自立支援センター 相談支援事業所

「あみーたⅡ」主任相談支援専門員

総社市自立支援協議会 副会長

大橋 靖司

シンポジウムでは、コーディネーターとして「地

域で豊かに暮らすために必要なこと」をテーマに、本人、家族、行政それぞれの視点から具体的な提言と意見交換を進行する機会をいただき、誠にありがとうございました。

シンポジストであるご本人さんは、仕事への誇り、そして経済的な豊かさ（仕事や所得）だけでなく、精神的な豊かさ（趣味や仲間）や人間関係の豊かさ（つながり）のバランスを取りながら暮らしている実態が強く伝わってきました。

また、グループホームでの生活において、計画

行政の取り組みとして、総社市が障害のある方を「地域を支える大切な人」として捉え、千五百人雇用の取組みなどを紹介されました。誰もが地域で豊かに暮らすためには、仕事だけではなく休日の過ごし方や支えつつ支えられるような人とのつながりが大切だと感じました。



本人の会紹介  
「岡山ももの会のみんなも街も元気に」



みんなで楽しむギターと歌



メルシーマジックショー

## 今年度の要望事項

相談支援体制の整備	共生社会に向けての啓発活動	物価高騰に対する対応
<p>① 基幹相談支援センターの全市町村設置を進めるなど、センターを核とした相談支援体制の充実</p> <p>② 相談支援員の人材育成や報酬単価の引き上げなど相談支援事業所の充実</p> <p>③ 職場等での消費者トラブルなどについての研修機会の確保</p>	<p>① 相模原市の障害者施設での悲惨な事件を風化させないための障害者理解や多様性を認め合う共生社会についての啓発活動を</p> <p>② 職場での合理的配慮を考えるためにキーパーソンとなる人の配置と研修</p> <p>③ あいサポート運動やヘルプマークの普及・啓発活動</p>	<p>① 年金引き上げや住宅扶助、医療扶助的な給付の創設など、知的障害者の実態を踏まえた経済的支援</p> <p>② 障害福祉サービス事業所の利用により安定した生活をおくことができるように、物価高騰に対応した事業所への助成や職員の待遇改善</p>

自然災害への対応	安心・安全な地域生活支援・高齢化への対応
<p>① 個別の避難計画・直接避難できる指定福祉避難所等の市町村による災害要支援者への対応</p> <p>② 通所・通学している事業所や特別支援学校等への福祉避難所の指定及び備蓄物品等の経費支援</p> <p>③ 入れ</p>	<p>① グループホーム・夜間に重度の障害のある方や強度行動障害の方がグループホームを利用できるための夜間支援従事者の配置を含む外部の目を入れる透明性のある運営の推進</p> <p>② 余暇の充実や高齢になつての外出などを移動支援の充実</p> <p>③ 地域の生活拠点等の整備</p> <p>④ 相談・緊急受け入れ・体験の機会・場</p> <p>⑤ 地域の体制づくりの継続的な機能強化</p> <p>⑥ 地域交流を含めた市町村で余暇活動を楽しむための環境整備・機会の設定</p> <p>⑦ 知的・発達障害のある人の理解と地域生活の安全を図るための警察関係者の研修</p>

国への要望	特別支援教育	労働と雇用	権利擁護
<p>① 障害のある実態に基づかないで、就労（福祉的就労を含む）を要件とした等級の下方変更や年金の不支給について現在の問題点や判定基準等の明確化</p>	<p>① 進路</p> <p>事業所の縮小や支援員の負担過多等による重度の生徒の進路選択（生活介護事業所等）の減少に対する取組</p> <p>② 不登校</p> <p>新しい取り組みの周知と地域のネットワークでの対応強化</p>	<p>① 民間企業で障害のある人が継続的に働くために障害者理解や合理的配慮による働きやすい労働環境づくりの啓発</p>	<p>① 強度行動障害児者の支援体制のために地域生活支援拠点等の整備の充実選挙での知的障害者の投票における合理的配慮の明確化</p>

\*要望書の全文については、ホームページをご覧ください。

## 研修会等の取り組み

### 特設研修会

- 「知的・発達障害の擬似体験」

講師 キヤラバン隊「ぴーす＆ピース」

矢野一隆 氏

勝又雅裕 氏

(兵庫県たつの市手をつなぐ育成会)

知的・発達障害児者の理解を深めるために疑似体験を通じて当事者の困り感を体験しました。話を聞きながらメモをとるなど二つのことを同時に

進行することの苦しさを体験し、そんな場合には一つずつ指示を出していくことを学びました。ま

た、知的・発達障害児者が地域で住みやすくなるには、その人を理解しようとする気持ちや同じ地



### 権利擁護研修会

- 「これからのお年後見制度のあり方について」

講師 久保厚子 氏

(全国手をつなぐ育成会連合会顧問)

・「現在の成年後見制度について」

・「成年後見の見直しの内容について」

(新制度の目指す方向)

・遅くとも令和十年度からの新制度のスタート

を目指す。

・法的後見制度を、遺産相続など必要な時だけ利用し、その目的が達成されれば終了出来る

域の仲間という気持ちをもつて関わることが互いに住みよい地域づくりにつながっていくことという言葉が胸に残りました。

・本人のことを最もよく知る親族が後見人になることを基本とする。などの他に意思決定支援に関わる議論を進めていることをお話しいうようにする。  
・自閉スペクトラム症のある子の個性と向き合いながら日常生活の中の笑いと涙のありのままの家族の気持ちをお話しいただきます。  
小島氏は4コマ漫画「家族はすつたもんだ」のモデルになっています。

たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

(2月2日開催)

### 行動障害療育研修会

- 「家族の気持ちとともに歩むために私たちができることがあります」

講師 小島幸子 氏

(全国手をつなぐ育成会連合会副会長)

自閉スペクトラム症のある子の個性と向き合いながら日常生活の中の笑いと涙のありのままの家族の気持ちをお話しいただきます。

小島氏は4コマ漫画「家族はすつたもんだ」のモデルになっています。



## 小規模事業所協議会 施設見学

小規模事業所協議会のメンバーで久米南町にある岡山県立誕生寺支援学校高等部（弓削校地）と岡山自立支援センター「ももつ子くめなん」の見学をしました。

「誕生寺支援学校」で高等部の紹介と進路指導についてお話を聞いた後、校内の職業コースの教室や作業学習で焼き菓子の製品を製造しているところを見学しました。職業コースでは、アンテナショップ等校外での実践的な学習などを通して働く力を身につけ就労による社会自立を目指した教育を行なっていました。

就労継続支援A型事業所「ももつ子くめなん」では農福連携した取り組みやビニールハウスでの



ミニトマトの栽培やさつま芋のスイーツのお店の見学をしました。お店では販売することでお客さんの商品に対する反応が直に感じられ、モチベーションの高まりにつながっていると説明されました。

ミニトマトの栽培やさつま芋のスイーツのお店の見学をしました。お店では販売することでお客さんの商品に対する反応が直に感じられ、モチベーションの高まりにつながっていると説明されました。

\* 小規模事業所協議会は現在十三の団体が加盟して、年に三回情報交換・研修会を開いています。

六月には、社会福祉法人 旭川荘 わかば寮 副寮長 井上 友和 氏に「知的障がいのある方の高齢期を支える視点のひとつ」と題してお話しいただきました。また、二月には、「知的・発達障害者のしあわせな高齢期」と題して「国立のぞみの園」の村岡 美幸 氏を講師に研修を予定しています。

### 知的障害者相談員協議会研修会

岡山県精神科医療センター 相談支援センター鹿

田 相談支援専門員／作業療法士の奥田 真由美

氏に「『作業療法士の相談支援専門員』による更生支援」と題してお話しいただきました。お話しの中で「いまや犯罪を犯すリスクは他人事ではありません。高齢・低所得・孤立・被虐待歴・複雑化する社会構造についていけず、弱い立場に追い込まれていくことは誰にでもあります。今私たちが求められていることは、今起きている出来事に関心をもち何が問題かをともに話し合い、改善するアクションを起こすこと

とです」という言葉が心に残りました。

第十三回手をつなぐ育成会中国・四国大会島根大会 第十三回手をつなぐ育成会「すまいる大会」島根大会

中・四国大会が島根県松江市の島根県立産業交流会館（くにびきメッセ）で開かれました。三つの分科会に分かれ、幼少期・学童期の「インクルーシブ教育」、成年期の「就労・学びの支援」、壮年期の「幸せいに高齢期を過ごす方法」について講演や意見交換が行われました。アトラクションでは、石見神楽「大蛇」の舞がありました。大迫力の舞台の舞でした。



# 受賞された方々 おめでとうございます

全国手をつなぐ育成会連合会会長表彰

岡山県手をつなぐ育成会 前理事

原 田 てつよ 様

中国・四国地区手をつなぐ育成会会長表彰

岡山県手をつなぐ育成会 理事

守 屋 八洲夫 様

津山手をつなぐ親の会（本人の会）なかまあず

柴 田 衣里奈 様

美咲町レインボータートル（本人の会）会長

宮 地 秀 明 様

育成会活動にご尽力、ご支援をいただきましてありがとうございました。

## スペシャルオリンピックス日本・岡山 (SON・岡山)

“明日は今日より良い笑顔で！ 前へ進め！”

2025年6月1日、「設立20周年記念『第16回地区大会』総合開会式」を岡山県立総合体育馆で開催し、設立20周年を祝うと共に関係者の方々へ感謝することができました。他県からのアスリート、ファミリー、ボランティアの方々総計約600人が集い開催できることはとても感慨深かったです。アスリートの頑張りはもちろんのこと、ファミリー、ボランティアの皆様もそれぞれ全力を尽くしてくださいました賜物でした。

『2025年第16回地区大会』は6競技で開催しどれもアスリートの輝く笑顔で溢れています。

私達は知的障害のある人たちにスポーツトレーニングと競技会を提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。知的障害のある方と一緒に競技するユニファイドスポーツにも注力しています。

知的障害のある方・共に競技する方のご入会をお待ちしています！  
「設立20周年記念『第16回地区大会』総合開会式」→



H P : [http://blog.livedoor.jp/son\\_okayama/](http://blog.livedoor.jp/son_okayama/)

スペシャルオリンピックス日本・岡山

名誉会長 松田久 会長 吉田大助

Tel: 086-237-1515 Mail: [okayama@son.or.jp](mailto:okayama@son.or.jp)

## タクシーは、もう電話で呼ばなくていい。

電話って、ちょっと不安…



アプリなら全部が“見える”！



対応エリア: 岡山市・倉敷市・津山市



TAXI.COME  
タクシードットカム

App Store  
からダウンロード



Google Play  
で手に入れよう



Apple および Apple ロゴは米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。  
Google Play は Google LLC の商標です。



両備タクシーセンター 岡山交通

# 知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、  
知的障がい児者、発達障がい児者(自閉症児者を含む)のための  
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

## 主な補償内容

### 病気やケガで入院したとき 入院給付金

※プランによって補償します

### 賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償

### ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)

### 虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償

### 病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金

※プランによって補償します

### 就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事中事故対応費用補償

※プランによって  
補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

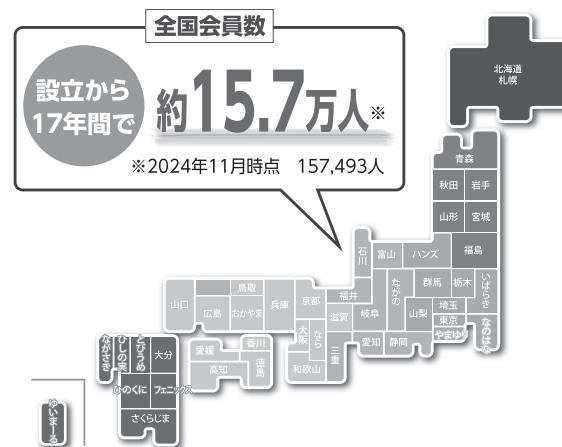
### ●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶ 入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶ 全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶ 取扱代理店は、知的障がい児者や発達障がい児者(自閉症児者を含む)への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約15.7万人※のみなさまに  
ご利用いただいている補償制度です。

※2024年11月時点



AIG損保の普通傷害保険

## 生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、  
職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

### 保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

シェイアイシーウエスト株式会社

〒540-0026 大阪市中央区本町1-1 OCT 7階  
TEL: 06-6941-5187 FAX: 06-6944-1728  
<https://www.jicwest.com/>  
受付時間: 午前10時~午後4時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/songo>  
大阪プロチャネル営業部  
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 36階  
TEL: 06-7223-2010  
受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

### ご入会のお問合せはこちら

おかやま知的障害児者生活サポート協会

〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1  
岡山県総合福祉ボランティア・NPO会館2F  
一般社団法人 岡山県手をつなぐ育成会内  
TEL: 086-801-3890 FAX: 086-801-3891

2025年1月現在の内容です。(D-007610 2026-03)